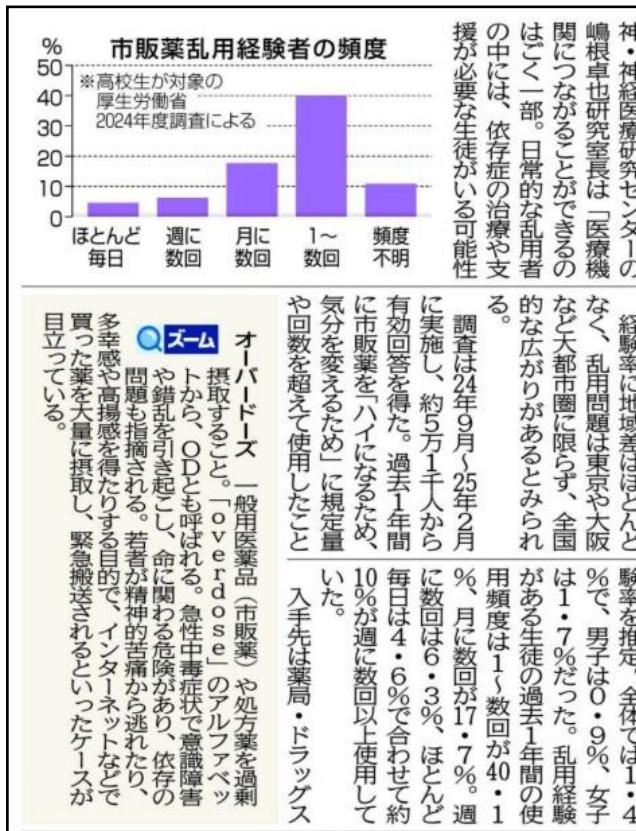


年 組 名前 :



(2025年12月13日付 山梨日日新聞22面)

問1

薬の過剰摂取(オーバードーズ)が問題になっています。なぜこのようなことが、全国的に広がりをみせているのでしょうか。

厚労省初算出

市販薬乱用 週数回以上 1割

せき止め薬や解熱鎮痛薬などの一般用医薬品（市販薬）を過去1年以内に利用目的で使った経験がある高校生のうち、約10%は週に数回以上使用したと回答したことが12日、厚生労働省研究班の2024年度調査で分かった。高校生の乱用経験は1・4%（約70人に1人）と推計された。若年者の薬の過剰摂取（オーバードーズ）が問題となる中、乱用頻度を初めて算出した。

頻度	頻度の頻度
1~数回	非常に高い
頻度不明	低い

経験率に地域差はほとんどなく、乱用問題は東京や大阪など大都市圏に限らず、全国的な広がりがあるとみられる。

調査は24年9月～25年2月に実施し、約5万1千人から有効回答を得た。過去1年間に市販薬を「ハイになるため、気分を変えるため」に規定量や回数を超えて使用したこと

を推定。全体では1・1%
男子は0・9% 女子
・7%だった。乱用経験
る生徒の過去1年間の使
度は1ヶ月回数が40・1
月に数回が17・7%。週
回は6・3%、ほとんど
は4・6%で合わせて約
か週に数回以上使用して

トアなどの店舗が54・1%で、嶋根室長は「保護者は定期的に家の薬を確認する必要がある」と指摘する。厚生省研究班は、高校生の飲酒や喫煙、薬物使用について、3年おきに全国アンケートを実施しており、21年度の高校生調査では市販薬乱用経験は1・6%約60人に1人で、24年度の中学生への調査では1・8%約55人に1人と推定された。

問2

オーバードーズは、身体にどのような影響を与えますか。

問3

オーバードーズへの対策として、あなたは、何が大切で、何が必要だと考えますか。